

宮崎県拠点だより

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから



事例紹介
ファイル #23

持続可能な農業に向かって!!

「アス→ノウ」で“地域密着の実り”を!!

～女子サッカー「ヴィアマテラス宮崎」 & JA青年部～

新富町を拠点とする女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」（なでしこ1部リーグ所属）とJAみやざき児湯地区青年部新富支部は、エリザベスメロンの共同栽培に取り組んでいます。

エリザベスメロンは、その名前から“女王”の気品を感じさせる品種で、豊かな甘みが特長ですが、栽培には手間がかかることから生産者は減少し、かつては、同地区管内で約50戸あった栽培農家も、現在ではわずか3戸ほどとなりました。「地域の大切な特産品を復活させたい」という日高支部長の思いが、この取組の出発点です。

ヴィアマテラス宮崎は、所属リーグで優勝経験を持つ“女王”のチーム。エリザベス（女王）の名を持つメロンとの組み合わせは親しみやすく、「二つの女王」が織りなすストーリーとして、地域発信の大きな力になることが期待されます。



上：収穫前のエリザベスメロンと井上選手
下：日高支部長とヴィアマテラス宮崎の選手



今年は約10aのハウスで試作栽培を行い、収穫前に試食した選手たちは「こんなに大きくなった!」「すごくおいしい!」と驚いていました。

収穫後は、「まずは多くの方にエリザベスメロンを知ってもらい、地域の魅力として育てていきたい」と、農畜産物直売所ルーピンで、チームカラーの黄色い専用箱に選手のメッセージを添えて、無料で買い物客に手渡されました。

アスリートとノウギョウ（農業）のコラボレーション、この素敵な出会いは今後も目が離せません。



収穫前のハウス内の管理をするヴィアマテラス宮崎の選手達（左から井上選手、小牧選手、上永選手）



農林水産省HP「アス→ノウ」プロジェクト



みんなで耕そう！

ノウフク(農福連携)の取組を、表彰を通じて応援しその価値を多くの人に知ってもらうことで、地域社会に根づかせるためのアワードです。

多様で魅力的なノウフクの取組を募集します。

エントリー受付中!

【応募期間】
2026年 6月15日(月)～8月24日(月)

農林水産省 HP



拠点のうごき



松田さんの春キャベツ畑



「みえるらべる」が貼られた春キャベツ

**「みえるらべる」が貼られた春キャベツが
お目見え!** (令和8年5月28日)

宮崎市清武町の松田さん(合同会社ベジファームマツダ)の春キャベツは、栽培期間中の化学肥料及び化学農薬を低減した栽培を実施することで温室効果ガスの削減に貢献し、米に続き「見える化」で星3つを獲得しました。

ひなたマルシェ生目四季の丘では、「みえるらべる」が貼られた春キャベツが6月下旬頃まで販売されました。

(注)環境負荷低減の「見える化」は、地域の標準的な栽培方法と比較した削減を示しています。



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

農林水産省 HP

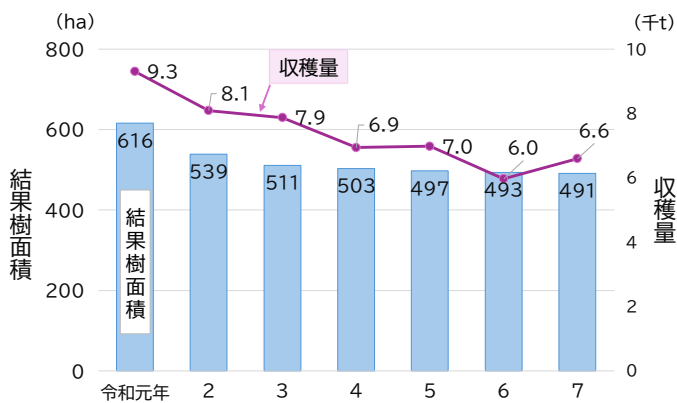


応募期間 令和8年6月15日(月)～8月31日(月)

データで見る宮崎のみかん!!

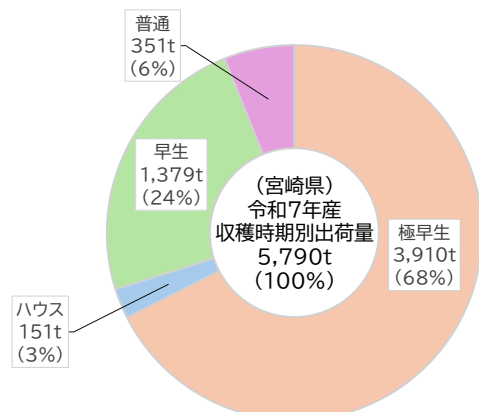
- 宮崎県の令和7年産みかんの結果樹面積は491haで、前年産に比べ2ha減少しましたが、収穫量は6,600tで、前年産に比べ630t(11%)増加しました。これは、開花数、着果数ともに前年を上回ったことと、前年が夏期の高温で日焼け果の被害が多かったためです。
- 令和7年産収穫時期別出荷量は、極早生が最も多く3,910t(68%)となっています。また、ハウスや早生を含めた早生計では出荷量全体の約9割を占めています。

結果樹面積と収穫量の推移(宮崎)



資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」
(みかんの栽培面積、結果樹面積、収穫量及び出荷量)

令和7年産収穫時期別出荷量(宮崎)



注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記 🌱

7月に入り長かった梅雨も明け、暑さも本格化してくる時期です。これからは体調管理がとても重要です。

今年の土用の丑の日は7月26日。私もお財布と相談しながら、今年こそは家族と一緒にウナギを食べて夏を乗り切りたいと思います。(S)